

## 研究課題「新規造血器疾患治療法の開発を指向した臨床試料を用いた基礎研究」について

骨髄性白血病をはじめとする造血器疾患に対する治療法やその成績は以前と比較すると大きく改善していますが、現在でも治療が困難な症例も多く存在し、新たな治療法の開発が望まれています。京都大学医生物学研究所がん・幹細胞シグナル分野では、白血病などの造血器疾患の新規治療法の開発に繋がるがん細胞の作動原理の解明を目的として研究を行っています。新たな治療法の開発においては、患者さんの細胞を用いた基礎研究が必要です。このような目的のために、東京大学医科学研究所との共同研究として、下記の研究課題を実施致します。なおこの研究は、京都大学医生物学研究所医の倫理委員会、東京大学医科学研究所倫理委員会の承認を得て、研究機関の長の許可を受けて実施されます。

### 1. 試料・情報の利用目的

京都大学医生物学研究所がん・幹細胞シグナル分野の研究から得られた創薬標的候補に関して、試験管内試験および動物モデルの系を用いて創薬標的としての有効性を評価することを目的とします。

### 2. 研究期間

承認日から2029年3月31日まで

### 3. 利用または提供する試料・情報の項目

東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科で造血器疾患の診療を行なった患者さんで、『臨床検体を用いた血液細胞の表面マーカー解析』(承認番号: 27-19-0713)、『臨床検体を用いた血液細胞の表面マーカー解析 2』(承認番号: 2019-86-0319)、または『余剰検体の保存および使用に関する同意書』もしくは『追加採取検体の採取・保存・および使用に関する同意書』にご同意いただいた方の試料・情報を利用させていただきます。

試料: 血液・骨髄液

情報: 診療情報(年齢、性別、疾患の種類、治療方法、等)

### 4. 試料・情報の利用方法

東京大学医科学研究所血液腫瘍内科の『新規造血器疾患治療法の開発を指向した臨床試料を用いた基礎研究』(研究責任者: 小沼 貴晶)で管理・保管されている上記 3 の試料を送付により取得し、この臨床試料を解凍し免疫不全マウス NOG 系統に移植します。NOG マウス中で増殖した試料由来細胞を FACS 等の方法で採取し、遺伝子ノックダウン、機能欠失変異等の遺伝子治療、または標的遺伝子産物に対して作用のある化合物や抗体処理を行い、試験管内での増殖に対する効果を調べます。また、試料由来細胞を保持する NOG マウスに対し、遺伝子治療、化合物・抗体の投与を行って、細胞の増殖能、分化能について解

析を行います。

5. 試料・情報を利用する者の範囲  
京都大学医生物学研究所がん・幹細胞シグナル分野
6. 共同研究機関  
東京大学医科学研究所血液腫瘍内科
7. 研究参加の辞退について  
試料・情報が本研究に用いられることについて、患者さんあるいは患者さんの代理人の方にご了承頂けない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんの不利益が生じることはありません。
8. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称  
京都大学医生物学研究所 准教授 服部 鮎奈
9. 利益相反の管理について  
本研究は、運営費交付金、国立研究開発法人科学技術振興機構からの公的研究費により実施します。また、本研究は、特定の企業からの資金提供を受けていません。本研究の実施にあたり、利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学利益相反審査委員会」において適切に審査しています。
10. 問い合わせ先  
がん・幹細胞シグナル分野 服部 鮎奈  
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53  
京都大学医生物学研究所  
連絡先電話番号 075-751-4805  
受付可能時間 平日午前9時から午後5時まで